

取組名称	資源循環を学び・行動・発信する人の育成			団体設立後の経過年数	7年
応募取組主体名称	一般社団法人 循環のまちづくり研究所	活動地域	福岡県筑後地域	応募取組の活動年数	23年
取組主体の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / <input type="checkbox"/> 学校 / <input type="checkbox"/> NPO・任意団体 / <input type="checkbox"/> 自治体 / <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ / <input type="checkbox"/> 個人 / <input type="checkbox"/> ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / <input type="checkbox"/> その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	<input type="checkbox"/> サステナブルデザイン賞 / <input type="checkbox"/> 子どもエンパワーメント賞 / <input type="checkbox"/> 環境と福祉賞 / <input type="checkbox"/> 環境地域ブランディング賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境ひとづくり賞 / <input type="checkbox"/> 環境社会イノベーション賞 / <input type="checkbox"/> 地球と人への想いやり賞 / <input type="checkbox"/> SDGs ビジネス賞 / <input type="checkbox"/> EXPO2025 いのち動的平衡賞				



<h3>取組の要旨</h3> <p>家庭の生ごみの循環利用に取り組んでいる福岡県大木町のリサイクル率は65%、みやま市は35%です。過去、生ごみ資源化に取り組んだ自治体の30%以上が資源化をやめて焼却処理に戻りました。市民の理解不足がその原因の一つです。そこで、資源化の取り組みを継続するために市民（小中学生を含む）の育成をおこない、持続可能な循環事業を支援しています。</p>
<h3>実績の要旨</h3> <p>福岡県大木町、みやま市、筑後市で行政・教育委員会・学校と連携して、様々な教育プログラムを実施・改善し「結果」を残してきました。また「発信する市民の育成」として大木町では外部からの視察に対応する住民ガイド（有償ボランティア）を育成しました。町の取り組みを誇りをもって住民が語る仕組みです。（左写真）</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	教育プログラムで「ごみを資源にする」意義の理解が深まり、リサイクル率が高まるだけでなく、温暖化防止へも貢献しています。
	社会・経済への貢献	教育プログラムでゴミ分別が徹底され、ゴミ処理コスト削減、循環に関わる地元雇用創出につながっています。
	地域資源の活用	教育での地域資源とは人です。育成プログラムで住民を視察対応のガイドに。彼・彼女らは有償ボランティアとして誇りを持って発信しています。
	普及・汎用性	筑後市の小学校4年生社会科の単元を活用した「ごみ分別」プログラムは12年続いています。全国の小学校・自治体で取り組むことができます。
	革新・ユニーク性	教師も行政職員も負担が増えずに結果が残るプログラムを大人、児童向けにそれぞれつくったこと。
	継続性	行政・教育委員会との連携で、筑後市、大木町ではすべての4年生が参加するプログラムです。筑後市では12年、大木町でも7年続いています。

展望の要旨	自治体の資源循環の取り組みをたちあげ・継続するため「人の育成」プログラムを整理して公開します。
-------	---